

会議名 財務常任委員会

日時 令和4年8月26日(金) 午前10時45分～午前11時04分

場所 第2・第3委員会室

出席議員(14名) 委員長 水野忠三 副委員長 鬼頭博和 委員 梅村 均
委員 片岡健一郎 委員 谷平敬子 委員 大野慎治
委員 黒川 武 委員 宮川 隆 委員 須藤智子
委員 井上真砂美 委員 関戸郁文 委員 堀 巖
委員 木村冬樹 委員 梶谷規子

欠席議員 なし

説明員 総務部長 中村定秋、健康福祉部長 山北由美子、建設部長 片岡和浩、消防長 岡本康弘
行政課長 佐野剛、同主幹 井手上豊彦、健康課専門員 城谷睦、同統括主査 小川薫、同統括主査 岡崎清美

事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主任 高野真理子

付議事件及び審議結果

議案番号	事件名	採決結果
議案第52号	令和4年度岩倉市一般会計補正予算(第6号)	全員賛成 原案可決

財務常任委員会（令和4年8月26日）

◎委員長（水野忠三君） ただいまから財務常任委員会を開催いたします。

当委員会に付託されました案件は議案1件であります。

審査に入る前に、当局からご挨拶をお願いいたします。

◎健康福祉部長（山北由美子君） おはようございます。本日も審議いただきます新型コロナウイルスワクチン接種事業につきましては、国からの事務連絡を踏まえ、速やかに接種体制の確保を進めるためをお願いするものでございます。市といたしましては、接種を希望される市民の方に速やかに接種していただける体制を整えるため、本日先議での補正をお願いするものです。ご審議のほど、どうかよろしくをお願いいたします。

◎委員長（水野忠三君） ありがとうございます。

それでは、審査に入ります。

議案第52号「令和4年度岩倉市一般会計補正予算（第6号）」を議題とします。

当局の説明はいかがいたしましょう。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（水野忠三君） 当局の説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

初めに、歳出について質疑を許します。

質疑はございませんか。

◎委員（関戸郁文君） 新規及び主要事業説明書によると、対象者は1回目、2回目を完了した者、時期は10月中旬以降ということでございます。10月中旬以降ということになりますと、国からの通達の中に、5回目というような内容が含まれているかどうか、ご確認させてください。

◎健康課専門員（城谷 睦君） 初回接種を終了した方ということで、現在その方々、全ての方を想定した準備を進めるようにということになっておりますので、4回目接種を終了された方が打たれる場合は5回目ということになります。よろしく申し上げます。

◎委員（関戸郁文君） つまり、4回目接種が終わっていて、その期間がある程度何か月か経ってれば、5回目接種が可能ということではよろしいでしょうか。

◎健康課専門員（城谷 睦君） 5回目接種も可能になります。

◎委員（宮川 隆君） 今、仮定の中で4回目、5回目という、別にそれを区切ってやるわけではないというふうに聞き取れたんですけども、私の聞きたいのはコールセンターの部分です。現在4回目接種が始まったばかりで

あります。その中で、コールセンターの委託に関して、期間がどういうふう
に設定されているのか、人員はどういうふうなのか、そして今回の接種の位
置づけ、要はこのコールセンターを張り付ける位置づけとして、先程4回目、
5回目の区別はないよということでしたけれど、4回目は4回目で今進みつ
つある中で、今回の補正予算分のコールセンターというのはどういう位置づ
けで付けられるのでしょうか。以上です。

◎保健予防グループ長（小川 薫君） 今回のコールセンターは、今予算組
みしている部分は9月末までの開設で予算組みをしておりますが、国のほう
からはいつまでの接種期間というのはまだ示されていませんので、一応令和
5年3月末まで開設するという形で補正予算を計上させていただきました。
そして人員のほうにつきましては、昼間の体制が5人、夕方5時から7時ま
でにつきましては3人の体制で実施をしていくことで考えております。

それで、位置づけということでしたが、オミクロン株対応の予約
についても対応しますが、1回目、2回目終わってない方につきましても、
終了ということではないので、その方々につきましてもコールセンターのほ
うで接種の予約等受付をしていくように、今考えているところです。

◎委員（木村冬樹君） このオミクロン株に対応したワクチンということで、
本会議の答弁の中でも部長が少し触れられましたが、重症化予防とか入院
予防の効果があるということで、感染予防だとか発症予防だとか、こうい
うところには今のワクチンのところではそれほど効果がないのかなというふ
うに、この間の議論の色々な所の情報を見ますと、そういうふうな感じにな
っているのかなというふうに思います。また、検査体制なんかも、確かに本当
に分らないというのが、市民の率直な所でありますので、この辺も含めて
コロナの対策は取っていかなきゃいけないんじゃないかというふうに思いま
す。検査の体制なんかはネットで調べますと、薬剤師会なんか情報が出し
てますけど、市内ではかなり限られた所でしかやれないというような感じに
なっていますので、そういった情報提供もお願いしたいなと思います。

お聞きしたいのは、コールセンターが開設されると、半年分ということで、
また新たなワクチンということで、きちんとコールセンターのほうの市民か
らの問い合わせなんかに対応できてくるのかなというところが心配されます。
それで、今現在のところも含めまして、保健センターのほうに色々な市民か
らの問い合わせがくるというような状況はどうなんでしょうか。保健所だ
とか、コールセンターもつながらないということで、結局市の保健センターで
色々対応しているのではないかなと予想するわけですけど、そういった状況
は、保健センターはどうでしょうか。

◎健康課専門員（城谷 睦君） コールセンターと保健センターとの連携の状況につきましては、情報の共有につきましても、こまめに情報共有をさせていただいておりますので、新しくこういったワクチンが入る準備が進むということですか、実際こうなりますということは、市民の問い合わせがあった場合には、十分対応できるような情報共有をさせていただいております。また、保健センターへの問い合わせについてですが、コールセンターのほうも接種券を送付した時については、少しつながりにくいというようなお声もいただいております。保健センターにお電話が入ることもありますが、1回目2回目の接種の時に比べますと、接種券を小分けにして送付するというようなことをしていく中で、保健センターへのお問い合わせは少なくなっております。予約がしにくいという状況につきましては、保健センターで予約支援をさせていただいております。予約がスムーズに行くように行わせて頂いております。また、保健所のお電話がつながりにくいということにつきましては、その件については保健センターのほうに現状お電話は入っている状況です。検査の場所はどこがあるのか、あるいは、自粛期間はいつまでなのか、というようなお問い合わせをいただくことがございますので、分かる範囲でお答えはさせていただいておりますが、最終的に保健所が判断してお答えしなくてはいけない部分につきましては、保健所をご案内するというようにさせていただいております。

◎委員（大野慎治君） 1点だけお聞かせください。オミクロン株のワクチン接種が10月中旬以降ということで、今年の秋以降から冬に、インフルエンザもはやるということで、インフルエンザワクチンも接種する方が多くいらっしゃると思うんですけど、ここの接種間隔というのはどれくらい空けるものなのか、またそのことについて、どのように周知をされるのかお聞かせください。

◎健康課専門員（城谷 睦君） 10月からにつきましては、インフルエンザワクチンを例年、医療機関で接種を高齢者の方、希望される方、あるいは若い方でもされているところですが、今回国のほうから、インフルエンザのワクチンに限りコロナワクチンとの同時接種が可能、接種期間につきましては問わないということに変更になったということですので、インフルエンザのワクチンの接種を希望されている方につきましても、スムーズなコロナワクチンの接種ができるということになりますし、医療機関でも今まで13日空けなくてはいけなかったところについても、その期間がなくなったということで、医療機関での接種体制もとりやすくなるのではないかと考えています。

◎委員長（水野忠三君） 他に質疑はございませんか。

◎委員（片岡健一郎君） 歳出のほうの、細かく見ますと、接種券作成業務委託料として530万円ほど計上されております。お伺いしたいのは、1回目、2回目終わられている方に発送するという事なんだと思うんですけど、すでに発送されている方にも発送し直すということによろしいのか。それと今まで送っている接種券とは何か違うご説明をするのか、要はオミクロン株に対応していますということをお聞かせいただきたいと思っております。

◎保健予防グループ長（小川 薫君） 1回目、2回目だとか、3回目についても接種券のほうは既に送っておりますが、今回はオミクロン株対応の接種券は、1回目、2回目と中身についてはそう大差がないものとなっております。要は回数というか、オミクロン株対応だよと分かるようになるというふうに想定をしておるところです。それで今回オミクロン株の対応のワクチンができるというお知らせも必要かなということもございまして、すでに発送している方で接種券をまだ使われていない方につきましても、改めて発送して説明というか、オミクロン株の対応のワクチンであるという部分でお知らせも兼ねて発送しようと考えております。

◎委員（片岡健一郎君） なんで2回目来たのかなと、戸惑う市民の方も見えると思っておりますので、その辺ちょっと丁寧によろしくお願いします。これは意見です。

◎委員（梶谷規子君） 今のと関連するんですが、4回目接種が、3回目の副反応があまりにも大変で、接種を見合わせているという人達は、その接種券で今度のオミクロン株の接種はできないということですか。接種券がまた別なら。今来ている4回目の接種券で、そのまま予約できるのかどうか、お聞きしたいと思っております。

◎保健予防グループ長（小川 薫君） 国のほうは、現在発送済みの接種券を使って予約のほうは可能である、そのまま接種できるというふうには、こちらにお知らせが来ていますので、現状の接種券でオミクロン株対応のワクチンを接種することは可能となっております。ただちょっとお知らせもしたいというこちらの意図もありますので、改めて送るということは考えておりません。

◎委員（梶谷規子君） 予約する場合、これまでモデルナかファイザーか希望で選択できたんですが、今度の選択するのは、オミクロン対応とかになるんですか。

◎健康課専門員（城谷 睦君） 今回ワクチンが10月中旬以降スタートというふうに聞いております。従来のワクチンにつきましては、供給のほうはモ

デルタワクチン以外のファイザーなどについてはもう終了ということになりますので、いつか併用という形になる時期があるかと思っておりますので、予約の段階でどのワクチンを選択するのかというのは接種者の方がお選びいただける予約の仕組みにしたいと考えております。

◎委員（堀 巖君） ちょっと教えてください。先ほど大野議員の質問では、インフルエンザの話が出ましたが、昨年の冬は、その前もそうだけど、驚くほどにインフルエンザの患者の数が減りました。これは、ウイルス干渉という仕組みによるものだというふうに考えられるというふうに聞いているんですけど、市当局は、デルタからオミクロンに変わってもウイルス干渉が起きるといふふうに考えているのか、それとも厚生労働省からのいろんな情報でどのようになっているのか、ちょっと教えていただきたいというふうに思います。

◎健康課専門員（城谷 睦君） 大野議員が言われますように、インフルエンザの患者数がいつか非常に少ないという状況がございました。国のほうからインフルエンザのことについて、特別な取組をするようにというような通知は現在のところ来ておりません。通常の感染対策を皆様が取っていただくことによる感染予防、それからインフルエンザの予防接種を打っていただくことによる感染予防効果があったのではないかとこのように考えております。

◎委員（堀 巖君） ウイルス干渉についての情報、市としての考え方というのはないのでしょうか。

◎健康課専門員（城谷睦君） ワクチンの干渉につきましては、国のほうからそういった情報のほうを、通知などいただいている状況ですので、よろしくお願いたします。

◎委員長（水野忠三君） 他に質疑はございませんか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（水野忠三君） 以上で歳出についての質疑を終結いたします。

続いて、歳入についての質疑を許します。

質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（水野忠三君） ないようですので、歳入についての質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

委員間討議を省略したいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（水野忠三君） 御異議なしと認め、委員間討議を省略します。
次に、議案に対する討論に入ります。
討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（水野忠三君） 討論はないようですので、直ちに採決に入ります。
議案第52号「令和4年度岩倉市一般会計補正予算（第6号）」について、
賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（水野忠三君） 挙手全員であります。

採決の結果、議案52号は全員賛成により原案のとおり可決すべきものと決
しました。

以上で、当委員会に付託されました案件はすべて議了いたしました。

なお、本委員会の委員長報告の文案につきましては、正・副委員長に御一
任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（水野忠三君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、財務常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。